

北陸学院中学校

ミッションの「教育力」

1885年の創立以降、「ミッション」の名で親しまれてきた北陸学院。金沢市飛梅町の学び舎には、高校生に混じって中学生たちが市内外から通学。教育方針の「勉強プラスもうひとつ」をはじめキリスト教を基本とする人格教育を支えに、元氣な姿で学校生活を送っている。今回は社会科担当の松本教諭に、北陸学院中学校特有の教育について聞く。



生徒へのフィードバックを大切にし、
中学・高校で自分の道を探す手助けを。

北陸学院中学校 社会科教諭
まつもと やすこ
松本 康子

1966年生まれ、静岡県三島市出身。金沢大学文学部文化人類学専攻卒業後、静岡県で公立中学校の社会科教諭に。その後金沢大学に戻り大学院で研究（その間、中国内モンゴル師範大学にて2年間留学）、一般企業に入社し留学カウンセラーとして働くが、再び教職に戻り、県内公立学校で教える。2017年北陸学院中学校専任教員に。中3担任、生徒指導課長、教育相談担当、ハンドベル部顧問。

安心して学べる環境の中で
個を伸ばし自己肯定感を育む

私は中学校の社会科担当で、中3の学級担任をしています。本校に着任したのは昨春で、それ以前は石川や静岡の公立中学などで教えていました。本校で教え出してまず驚いたのが、生徒たちがみんな素直で明るく、勉強や行事にとっても前向きなことです。

職員室の前はいつも教員に質問をしにきた生徒が群がっていて、授業中も元氣いっぱい。よく自分から発言し、生徒同士で意見交換することにも積極的です。これはきっと学校が安心して学べる場だからでしょう。本校はキリスト教の教えを基本に、礼拝などで「あなたは愛されている」「神様の宝物だ」とことあるごとに伝え、生徒が自己肯定感を高められる環境づくりに努めています。それが精神的支えとなっているのですね。

教員と生徒の距離が近く、生徒から相談を持ちかけられることもよくありますし、個人面談も頻繁に実施。また、コミュニケーションノートのやり取りなども行いながら生徒一人ひとりの日常を注意深く見守っています。生徒はみんな素晴らしい力を持っているので、その力を信じ、彼らに何か困難が生じた場合には何時間でも何日でも生徒の声を聴き、自分で解決法を見出せるように支援します。学校は失敗していい場所、安心して失敗できる場所なので、失敗を恐れずのびのびと個性を発揮できる環境を整えてあげたいですね。

また社会科の授業では、意見を書く

Interview!

【中学3年】原嶋 空さん

私はジャン・バルジャン役を演じ、彼のさまざまな葛藤をセリフや動き、視線などでどのように表現するかが難しかったです。セリフを印象づけるための工夫などクラス全員で考え、話し合うなかで互いを認め、尊重することで結束が強まりました。当日はクラス全員が全力で、楽しみながら演じ、「感動した、中学校最後にふさわしい劇だったね」などの言葉ももらえて嬉しかったです。



北陸学院中学校・演劇コンクール

演劇コンクールは、中学校で特に盛りあがりを見せる行事です。今年優勝したのは3年生。細かな動きまで考えられ、感情のこもった迫真の演技や歌が観客を魅了しました。最上級生の姿を見た下級生は、来年に向けたモチベーションが高まったはず。



1年「君の隣をたべたい」



2年「ピーターパン」



3年「レ・ミゼラブル」

TOPICS!

ミッションならではの
学校生活をご紹介します



【電子黒板の活用】

全教室に設置され、多くの授業に活用されている電子黒板。動画や音声、画像を使って授業ができるため、生徒が内容に興味・関心を持って、より分かりやすく学べます。



【主体的に学ぶ環境】

生徒が教員に個人的に教わるための場を職員室前に設置。放課後になると、生徒が質問を携えて次々に現れます。こうしたきめ細かな指導が学力向上につながっています。

全員参加の演劇コンクールで
団結する喜びや達成感を知る

特色のある学校行事を多彩に実施し、貴重な体験をさせながら人間力を育んでいるのも本校らしい点でしょう。その代表例が、伝統的に受け継がれている演劇コンクール。クラス対抗で競いあう本校の一大イベントです。

準備期間が2週間しかなく、限られた中で台本の制作や配役、稽古、音響・照明・道具などすべてを生徒が行いま

欄などを幾つも設けたオリジナルのプリントを中心に、主体的に考え、表現する力の養成を図っています。手元に戻った解答は一つひとつ丁寧にフィードバックし、生徒が自力で答えを探せるよう助言するよう努めています。電子黒板などICT環境が整っており、いろいろな教授法を実践できるのも本校の良いところですね。近い内にプリントを紙から個別タブレットへと移し、教員のパソコンと連動させた授業を行おうと思っています。

す。台本決めで意見が対立することもあれば、役を取りあうことも。迫る本番をにらみながら葛藤が繰り返されますが、この過程がまた重要です。生徒たちはやがて互いの才能（賜物）を認めあい、絆を深めていくと同時に、より良いものを目指して力を出し切るという貴重な体験をすることにもなります。

そして、当日の舞台がまた素晴らしいです。1学年1学級しかなく、毎年同じ顔ぶれで行うため年々完成度が高まっています。生徒たちの潜在力の大きさにただ驚くばかりです。本年は3年生が「レ・ミゼラブル」で優勝し、演じる側も見ると感動の内に閉幕となりました。チームで創り上げる喜びや達成感、また人前で発表できたという自信にもなるこの行事は、まさに本校ならではの

誰しもが持っている賜物を
他者のために生かせる人間に

中高継続教育で6年をかけて生徒を支えられるのも北陸学院の特長だと思

ます。本校は直近の進学だけでなく、大学やそれ以後も見据えた長いスパンでの進路指導を得意としており、私自身は企業勤務や海外留学での経験も生かしたアドバイスを心がけています。教員たちは中高の双方で教えていますし、合同の部活動も多数あります。6年間を一緒に過ごすことで生徒の成長の様子や生活環境などが正確に把握でき、より充実したきめ細かな指導が可能になると感じています。

才能（賜物）はすべての人に与えられているもの。それを見つけ、自己実現できるような手助けするのが私たち教員の仕事ですが、それとともに賜物が自分のためだけでなく、一緒に社会で生きる他者のものでもあることに生徒が気づくことも極めて重要です。自分のことばかり追っていると、渴くばかりでいつまでも満たされません。しかし、それを他者のために用い始めた途端に人は満たされていきます。他者に助けられていること、また他者のために賜物を使うことに感謝と喜びを見出せる人材をしっかり育てていきたいですね。

学校・入試説明会のご案内

参加お申し込みは、本校配布のチラシ申込欄をFAX、またはホームページよりお願いします。

北陸学院高等学校 Hokuriku Gakuin high school

- ▶学校・入試説明会
- 11月17日(土) 申込締切 11/9(金)
- 11月23日(金・祝) 申込締切 11/16(金)
- 11月28日(水) 申込締切 11/21(水)
- 12月 1日(土) 申込締切 11/23(金・祝)

●対象／中学2・3年生とその保護者

北陸学院中学校 Hokuriku Gakuin Junior high school

- ▶学校説明会
- 9月22日(土)午前 申込締切 9/13(木)
- ▶入試問題解説会
- 10月20日(土)午後 申込締切 10/11(木)

●対象／小学校6年生の児童とその保護者



ミッションならでの、学ぶ環境！



グロリア・チャペル
毎朝の礼拝を行うチャペルです。創立100周年を記念して導入したパイプオルガンの音色に心を落ち着かせ、自分と向き合います。



電子黒板
すべての教室に設置。動画や音声、画像を使いながら授業を行うため、生徒の興味・関心を引くことができます。



中学生のお子様をもつ保護者の方へ

スカラシップ奨学金制度 ※1 下記成績優秀者の3年間の授業料を無償 ※2 とします

- ①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
- ②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者

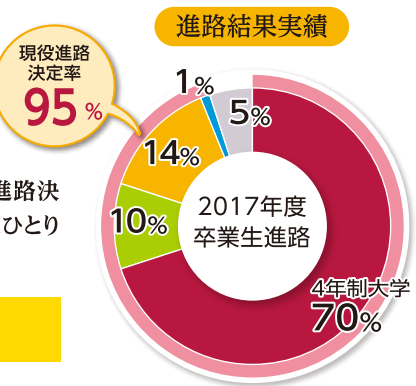
※①②ともに特別進学コース・総合進学コースどちらのコースを受験した場合も適用されます。
※1:本制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断となることもあります。
※2:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
※3:世帯収入によって金額が変わります。
※4:毎月の授業料から「高等学校等就学支援金制度」の支給額を差し引いた金額です。

従来	就学支援金が1倍の場合 ※3	1年目	2年目	3年目
授業料 29,000円	授業料 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円
	北陸学院高校 スカラシップ 奨学金制度を 利用した場合	スカラシップ 奨学金制度 -19,100円	スカラシップ 奨学金制度 -19,100円	スカラシップ 奨学金制度 -19,100円
合計29,000円/月	合計19,100円/月	3年継続して 合計0円/月		

2018年度の大学入試結果から
合格実績で見る「進学力」

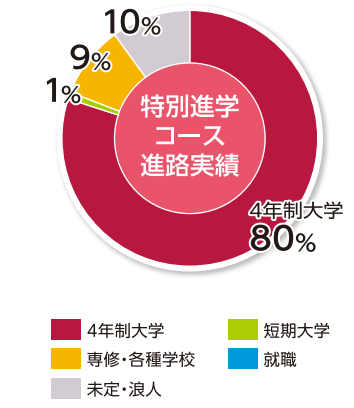
本校では、生徒の個性を活かした進路指導をしています。生徒自身が将来を考えながら進路決定ができるようサポート。最近では現役の4年制大学進学率が3年連続70%を超え、一人ひとりが目標を持って学び、志望する進路への歩みを進めています。

2017年度卒業生 4年制大学 主な合格実績 すべて現役合格!!



- 国公立大学
- 金沢大学2名 (人間社会学域 学校教育学類・文系後期一括)
 - 金沢美術工芸大学1名 (美術工芸学部芸術学専攻)
 - 富山大学1名 (理学部生物圏環境科学科)
 - 石川県立看護大学1名 (看護学部看護学科)
 - 公立小松大学1名 (国際文化交流学部国際文化交流学科)

TOPICS 1
金沢大学：「文系後期一括・理系後期一括」入試
平成 30 年度入試よりスタートしました。1 年次は「国際基幹教育院 総合教育部」に所属。入学してから時間をかけて興味のある分野を探し、2 年進級次に学類を決定できる入学方法です。はじめての入試で対策が難しいなか、本校の生徒は日頃の積み重ねで基礎が定着していたため、見事合格することができました！



- 難関私立大学
- 同志社大学11名 (神・経済・社会・心理・スポーツ健康科学・政策・生命医科学・文・文化情報・法)
 - 関西学院大学6名 (教育・人間福祉・文・法)
 - 明治学院大学5名 (経済・国際・社会・文)
 - 青山学院大学2名 (教育人間科学・総合文化政策)

TOPICS 2
推薦入試のためのポートフォリオ
小論文や面接のサポートを進路指導部や教職員総動員で実施。入学時からの学習の歩みをためていく独自の取り組み「進路ファイル」は、志望校を選択する際のふりかえりに役立ち、小論文や面接の対策にもなります。本校では、職種から考えるのではなく、どんなことが好きか、どんな仕事をして役に立ちたいかなど違う視点をもって進路を考えるように指導しています。

他にも！
生徒それぞれが進路実現に向けて羽ばたいています！
大阪芸術大、関西大、京都外国語大、京都産業大、近畿大、神戸女学院大、白百合女子大、津田塾大、帝京大、東海大、同志社女子大、名古屋外国語大、名古屋商科大、日本歯科大、日本大、日本福祉大、フェリス女学院大、法政大、立教大、立命館アジア太平洋大、立命館大、山梨学院大…など

なぜ北陸学院高等学校が選ばれるのか？

ミッションの「教育力」

Educational Capability

勉強プラスもうひとつ
部活動や生徒会、習い事などさまざまな「もうひとつ」に取り組み、充実した学校生活を過ごすとともに、人間的成長を目指します。



豊富な指定校推薦枠
「キリスト教学校教育同盟加盟校」である同志社大や関西学院大、明治学院大などへの推薦枠を有しています。



独自の海外留学プログラム
希望者向けに、短期海外研修や長期留学を実施。世界を知ると同時に自分自身を見つめ直す機会となり、将来の可能性を広げます。

